



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ 「ロータリーのマジック」

R.I. 会長 ステファニー・A. アーテック

2024～
2025年度
テーマ

R.I. 2720地区テーマ 「寛容な心でロータリーの未来、
そして若者の未来を考えよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー
三村彰吾

熊本G.R.C.テーマ 「ロータリーに目的を持ち
人生を豊かにしよう」

熊本グリーンRC会長 宮部康弘



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：宮部康弘 ■幹事：河島一夫 ■会報担当：田中慎二
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1537回

2024 - 2025 年度 第12回

令和6年10月28日

【例会】

1. 閉会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「奉仕の理想」 (ロータリーソング)

来訪者紹介

- ・卓話者
米山奨学生 李潤枝 (イユンジ) さん
- ・地区 米山資金推進委員長
古崎正倫 氏 (熊本東RC)
- ・熊本グリーンRAC
会長 久保山慧美さん
幹事 緒方 理彩さん

友情の握手

会長挨拶 (宮部 康弘 会長)

今日は RI が提唱している DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)のうち多様性 (ダイバーシティ) について私が感じた事をお話したいと思います。

多様性とは単に人種や性別にとどまらず、多様な背景や経験、視点を包含する広範な概念とあります。異なる文化、信仰、人種、性別、性的指向、年齢、身体的能力、経済的背景など、人々が持つさまざまな側面を認識し、尊重する事を意味します。この多様性は、社会や組織において豊かなアイデアや革新をもたらし、人と人とのつながりを深める力があるらしいです。

しかし、私は何度調べてもピンと来ませんでした。言葉は分かるけど腹落ちしない、という感じです。なぜピンとこないのだろうと考えまして1つ思いついたのは、私たちが住む熊本では身近に事例が少ないから腹落ちしないのだろう、という事です。今日も例会にきて肌の色の違い、宗教の違い、言語の違い、食文化の違いなど感じる事ありません。地区大会などに行っても同様です。最近こそ海外の方達をお見受けするようになりましたが、身近に感じるのは本日のように米山奨学生の方と接する時くらいでしょう。

しかし、ロータリーの本部がある、アメリカは違うと思います。様々な人種が生活空間を共有するなかで多様性を実感する機会も多いと思います。その環境から RI では多様性を受入れる考え方が生まれている

これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。

卓話予定

- 11/11 熊本北RCとの合同例会
「横井小楠と福井の人々」～福井・熊本姉妹都市30周年記念～ 郷土史家 徳永 洋氏
- 11/19 「児童養護施設菊水学園の子どもたち」菊水学園 理事長 松本純子氏
- 11/25 ★例会変更予定→11/26 (火) 18:00～ (於：ホテルキャッスル)
「I. M.」 (インターシティミーティング) に変更

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

のかな、と私なりの結論でした。

では、私たちグリーンロータリーの多様性とはなんだろう、と考えました。多様性を認め合うことで豊かなアイデアや革新をもたらし、人と人の繋がりを深める事ができるとマイロータリーにありました。グリーンロータリーでも職業、年齢、能力について少々多様性はあると思いますが、それを尊重し合うことで豊かなアイデアや革新をもたらすまではイメージできませんでした。

皆さんはどう思われますか？

私なりの考えた答えは、経験値の多様性ではないか、と思います。ロータリー歴が浅く経験値が低いメンバー、経験値の高いメンバーがそれぞれにお互いを尊重し合い、意見を交換する雰囲気があれば、豊かなアイデアや革新をもたらす事ができるのではないかと、それが私たちグリーンロータリーの多様性かな、と思います。私は経験値が低いメンバーに入ると思います。これからも先輩、後輩の皆さんのご意見を尊重し、私の考えもぶつけながら雰囲気の良いグリーンロータリーになれたらと思います。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告 (河島一夫 幹事)

<例会変更・取り止め>

●例会変更

[熊本南 RC]

11月11日(月)の例会は、観月例会及び新入会員歓迎例会のため、同日18:30よりホテル日航7階「ガーデンバケット」にて行います。サインメーカーは行いません。

[熊本中央 RC]

11月29日(金)の例会は、熊本第4グループIMのため、11月26日(火)18:00より市民会館にて行います。

●例会取り止め

[熊本中央 RC]

11月8日(金)の例会は、定款に基づき、取り止めます。サインメーカーは行いません。

[熊本城東 RC]

11月18日(月)の例会は、祝日が含まれる週のため、取り止めます。サインメーカーは行いません。

慶事 (宮部康弘会長エレクト)

10月お誕生日祝い

河野 景治 S31.10.13

江上 泰弘 S34.10.3

江上 淳子 10.1



Happy Birthday, dear fellows!

出席報告 (クラブ管理運営 山口悦史 会員)

	会員総数	20名	出席率
10月28日	出席免除会員数	0名	65.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	13名	
9月30日	前回の出席会員数	10名	55.00%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	11名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・10/9 熊本グリーンRAC 下田 君			

委員会報告

●「ロータリーの友」10月号の内容紹介

報告者：河野景治 公共イメージ委員長



●熊本グリーンRACバザーの品物提供について

報告者：熊本グリーンRAC 会長 久保山慧美さん、幹事 緒方理彩さん

アクトのバザーの商品提供にご協力ありがとうございます。「第7回リビングフリーマーケット」に出品予定です。

・11月30日(土)10:00~16:30

・12月1日(日)10:00~16:00に

上記日程にて、グランメッセ熊本にて開催されます。お時間のある方は、ぜひ覗いてみて下さい。



い。

熊本グリーンローターアクト

左から久保山慧美会長、右 緒方理彩幹事

スマイル (山下 佳介スマイル担当)

●宮部康弘君、河島一夫君、荒木一之君、栗山義則君、田代 武君

「古崎委員長、米山奨学生の李さん、ローターアクトより久保山会長、緒方幹事のご来訪心より歓迎致します。李様、本日の卓話楽しみです。宜しくお願い致します。」

●古崎正倫 君 (熊本東R C)

「本日は米山奨学生イ・ユンジさんを卓話にお招き頂き誠にありがとうございます。引き続き米山奨学事業への理解とご協力を何卒宜しくお願い致します。」

●山口悦史 君

「イ・ユンジさんの卓話、楽しみにしております。宜しくお願い致します。」

●山下佳介 君

「古崎様、イ・ユンジ様、久保山さん、緒方さんのご来訪心より感謝致します。昨日は1泊で「阿蘇少年自然の家」に130名位で行って来ました。実はRACのライラ事業で20年程前に行った事があり、とても懐かしく思った次第でした。」

●松村秀逸 君

「昨日の衆議員選挙が無事終わりました。熊本県4選挙区全部自民党が勝利し皆様方には大変お世話になりました。感謝しスマイル致します。」

●田中慎二 君、江上泰弘 君、山口 翼 君、河野景治君

「本日の卓話者、イ・ユンジさん、米山担当の古崎様の来訪、心より歓迎致します。卓話楽しみです。又、アクトより、久保山さん、緒方さん、フリマ頑張って下さい。今日は宜しくお願い致します。」

3. 例会プログラム

紹介者：地区米山資金推進委員長 古崎正倫 氏

卓話者：米山奨学生 李 潤枝 (イユンジ) さん
(韓国：熊本大学)

演題：「ドキドキ土器」



卓話者随行者 地区米山奨学会資金推進委員長
古崎正倫氏 (熊本東R C)



卓話者 米山奨学生
李潤枝（イ ユンジ）さん
（国籍：韓国 熊本大学）



米山奨学生の李 潤枝さんへ
ささやかなお礼の品を贈呈

4. 閉会・点鐘



2024年11月号
ロータリー財団月間
発行日 10月28日

【ロータリーが女性のキャリアを後押し】

仕事上のつながりを広げ、新しいスキルを身につけ、野心的な目標に取り組むインスピレーションを得る

7月のある日、オンラインのロータリー会合が始まると、ナイジェリア、カナダ、タイ、ノルウェーなど、10 数カ国から参加者が集まりました。全員女性です。

会合のテーマは、ロータリーがどのように各自のキャリアに役立ったか。参加者たちは、ロータリーのプロジェクト、クラブ、奨学金からどのような恩恵を受けたかを語りました。

「ロータリーの国際親善奨学金のおかげで、新聞社、テレビ、ラジオの世界へと進むことができました」と話すのは、英国出身のジャーナリストで、RI理事を務めるイヴ・コンウェイ・ガジさんです。「ロータリーとのつながりを通じて、パキスタンにおける乳がん撲滅のドキュメンタリー制作を始めました」

ロータリーのプロジェクトに参加することで得たスキルについて語る人もいました。

「さまざまな地域社会を訪れ、そこでの課題を理解することで、自分もより成長することができました」と話すのは、ケニア在住の元ロータリー財団管理委員、ギータ・マネクさんです。「ロータリーに入っていなかったら、あちこちで小額の寄付をしていたかもしれませんが、これらの地域社会が直面する課題や、その根本原因に対処する方法を理解することはできなかったでしょう」

これは、ロータリーで管理委員や理事、その他のリーダーとしての役割を務めたことのある女性約35名によるネットワーキンググループです。このグループは、米国の元RI副会長・理事のジョリタ・ソラーリさんによって、新型コロナウイルスの世界的流行の最中に結成されました。話し合いは通常、進行中のプロジェクトから個人的な問題やキャリアに関する事柄まで、幅広い内容です。

「自分たちが今よりも良くなるにはどうすればよいか、お互いをどうサポートし合うかについて話し合います」とソラーリさん。

このような集まりは、ロータリーの女性会員が貴重な職業上のつながりを築くための、数ある方法の一つにすぎません。ビジネスの親睦活動グループに参加してネットワークを広げる女性がいれば、ロータリー行動グループやロータリー友情交換に参加して人脈を広げる女性もいます。ロータリーのおかげで、仕事上のつながりができ、スキルを広げることができ、そして何よりも、自分自身により高い目標を定めるためのインスピレーションを得ることができたと、多くの女性会員が話します。（次回に続く）